

平成28年5月20日

重要伝統的建造物群保存地区の選定について

文化審議会（会長 まぶち あきこ 馬淵 明子）は、平成28年5月20日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに2地区を重要伝統的建造物群保存地区に選定することを文部科学大臣に答申しました。

この結果、官報告示を経て、重要伝統的建造物群保存地区は、112地区となる予定です。

重要伝統的建造物群保存地区の新規選定

名 称	所 在 地	選定基準
<small>なごやしありまつ</small> 名古屋市有松伝統的建造物群保存地区	愛知県名古屋市	(一)
<small>ひこねしかわらまちせりまちちく</small> 彦根市河原町芹町地区伝統的建造物群保存地区	滋賀県彦根市	(二)

◎今回の答申における特筆すべきもの

名古屋市有松伝統的建造物群保存地区

愛知県名古屋市

愛知県名古屋市の南東部、江戸前期の集落成立からまもなく考案された絞り染めを、尾張藩の庇護の下に有松絞として発展させ、近代から昭和初期にかけて最も栄えた東海道沿いの町並みである。絞商の豪壮な屋敷構えと絞りに関わる諸職の町家が混在して建ち並ぶ、特色ある町並みを良く残す。愛知県では2地区目の重要伝統的建造物群保存地区。

<担当> 文化庁文化財部参事官（建造物担当）

参事官 熊本 達哉 （内線 2790）

伝統的建造物群部門 下間 久美子、岡本 公秀、

小坂 謙介 （内線 2794）

登録係 貴志 徹 （内線 3160）

電話： 03-5253-4111（代表）

03-6734-2792（直通）

【参考資料】

・重要伝統的建造物群保存地区の数

	新規選定	累 計
重要伝統的建造物群保存地区数	2地区	112
（所在都道府県数）	2県	43
（所在市町村数）	2市	92

・重要伝統的建造物群保存地区選定基準（昭和50年11月20日文部省告示第157号）

伝統的建造物群保存地区を形成している区域のうち次の各号の一に該当するもの

- （一）伝統的建造物群が全体として意匠的に優秀なもの
- （二）伝統的建造物群及び地割ちわりがよく旧態を保持しているもの
- （三）伝統的建造物群及びその周囲の環境が地域的特色を顕著に示しているもの

新規選定 絞商の豪壮な屋敷構えを特徴とする、絞り染めで発展した東海道沿いの町並み

名古屋市有松伝統的建造物群保存地区

所在地 名古屋市緑区有松の一部

面積 約7.3ヘクタール

名古屋市は愛知県西部に位置し、保存地区は、名古屋市の南東部、尾張丘陵を横断する東海道沿いにある。地区の北側には、^{あいぞめがわ}藍染川の通称で呼ばれる^{てごしがわ}手越川が流れる。

保存地区は、慶長13年（1608）の尾張藩による移住奨励によって^{おけはざまむら}桶狭間村に開かれ、まもなく^{ありまつむら}有松村として独立した集落を起源とする。最初の移住者が考案したとされる絞り染めが、^{ありまつしぼり}「有松絞」の名で東海道の往来者向けの土産物として知れ渡るにつれ、藩の庇護の下、江戸時代を通じて絞り染めが産業として大きく発展し、町並みも拡大した。

創業の初期には、絞り染めの製造販売の全工程を絞商が行っていたようであるが、染めや括りの技法の発展や、需要の増大に伴い、18世紀の中頃からは分業が成立し、絞商の豪壮な屋敷構えと、諸職の町家が混在して建ち並ぶ特徴ある町並みが形成された。近代に入って藩の庇護を失い、街道の往来も減少すると、店頭商いを原則としていた有松絞は一旦衰退するが、卸業への転換を図って販路を拡大するなどして再興し、明治後期から昭和初期にかけて最も繁栄した。

保存地区は、東海道に沿った約800メートルの範囲である。町並みを特徴づけるのは、敷地間口が大きい絞商の屋敷構えで、街道に面して主屋や土蔵を並べ、さらには門や塀を建てる。そのため、町家が並ぶ所々に、塀越しに庭木や隠居屋等を見越す景観が混じる。絞商の主屋は、東側（江戸側）に通り土間を設け、西側（京都側）に部屋を三列に並べる間取りを持つ。職人の町家は二列型を基本とし、一列型のものも見られる。

名古屋市有松伝統的建造物群保存地区は、慶長13年の移住奨励による集落の成立から現在まで、絞り染めを産業として継続し、東海道の旧の幅を残しながら、意匠に優れた大規模な主屋や土蔵を有する絞商の豪壮な屋敷構えと諸職の町家が混在して建ち並ぶ、特色ある歴史的風致を良く伝え、我が国にとって価値が高い。



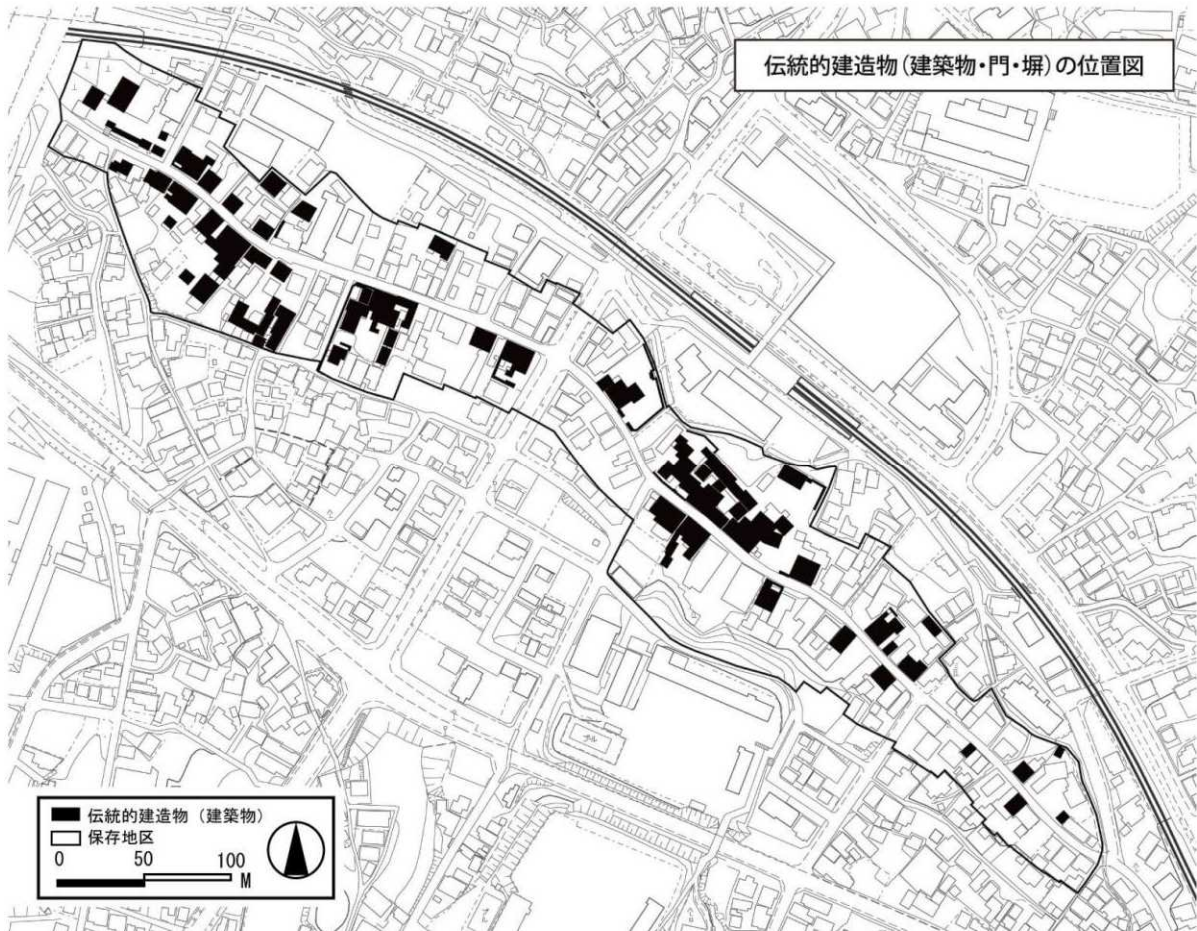
東海道沿いの町並み

近世から近代の絞商と職人の町家が建ち並ぶ



絞商の広大な屋敷構え

意匠に優れた町家と土蔵、庭木を見越す塀が連なる



名古屋市有松伝統的建造物群保存地区の範囲

新規選定 河川を付け替えて形成された城下町の特徴ある地割りを残す町並み

ひこねしかわらまちせりまちちく
彦根市河原町芹町地区伝統的建造物群保存地区

所在地 彦根市河原一丁目、河原二丁目、河原三丁目及び芹町の各一部

面積 約5.0ヘクタール

彦根市は滋賀県の北東部、琵琶湖東岸に位置する。保存地区は、旧の城下町の南東隅に形成されたかつての町人地である。城下町と中山道、さらには東方の農村部及び山間部を結ぶ芹川北岸の往来に沿った町並みで、北から江戸時代の河原町、袋町、安清町、善利新町にあたる。

彦根の城下町は、元和期（1615～1624）に三重の堀を巡らす城下の骨格が定まり、寛永期（1624～1644）にかけて城下町も整備されるが、河原町は元和4年（1618）以前、南端の善利新町も寛永18年（1641）には成立したとされる。

保存地区は、ゆるやかにS字を描く幅二間程度の往来に沿った約780メートルの範囲である。所々に不整形の敷地を見せながら、短冊形に割られた敷地が並び、芹川の流路を付け替えて城下町を整備した名残を、現在の地割りによく残す。

この往来に沿って、切妻造、瓦葺、二階建とする伝統的な町家が建ち並ぶ。二階をつし二階として虫籠窓を備えるものが多く、袖うだつを設けるものもある。片側を土間とし、部屋を一行もしくは二列に並べる間取りが大半で、二列の場合には土間側の一行を幅一間とするのが特徴である。

敷地に合わせて不整形に建てる町家や、近代以降も商業地として栄えた様相を伝える銀行等の近代建築、表構えを洋風に改造した町家等が、町並みに変化を与えている。

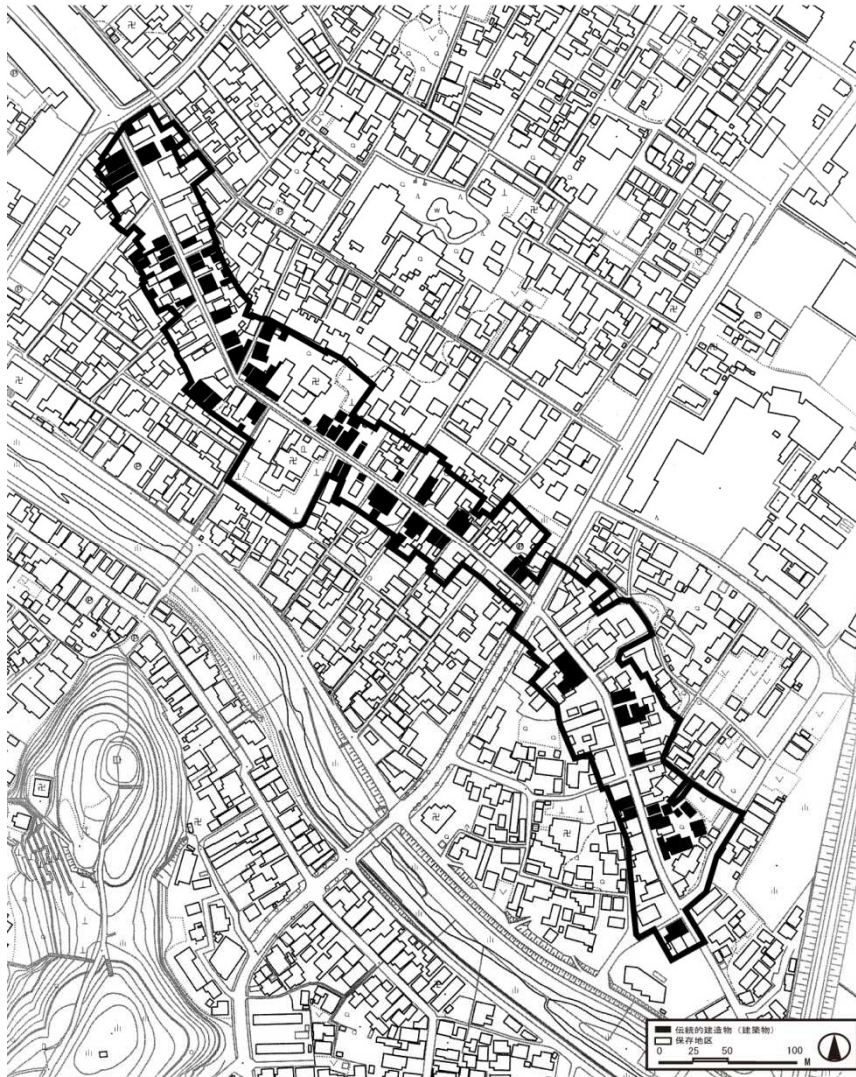
ひこねしかわらまちせりまちちく
彦根市河原町芹町地区伝統的建造物群保存地区は、江戸時代前期に河川を付け替えて形成された城下町の特徴ある地割りを良く伝えるとともに、街路に沿って江戸時代から昭和戦前期にかけて建てられた町家等を良く残し、商家町としての歴史的風致を良く示すことから、我が国にとって価値が高い。



芹町（旧善利新町）の町並み
つし二階の伝統的な町家が連なる



保存地区の伝統的な町家
虫籠窓や袖うだつを持つ古い形式の町家



彦根市河原町芹町地区伝統的建造物群保存地区の範囲

(参考) 重要伝統的建造物群保存地区一覧 (答申・官報告示後)

No	都道府県	地区名称	種別	選定年月日 (拡大年月日)	選定基準	面積 (ha)
1	北海道	函館市元町末広町	港町	平 1. 4. 21	(三)	14. 5
2	青 森	弘前市仲町	武家町	昭 53. 5. 31	(二)	10. 6
3	青 森	黒石市中町	商家町	平 17. 7. 22	(一)	3. 1
4	岩 手	金ヶ崎町城内諏訪小路	武家町	平 13. 6. 15	(二)	34. 8
5	宮 城	村田町村田	商家町	平 26. 9. 18	(一)	7. 4
6	秋 田	横手市増田	在郷町	平 25. 12. 27	(二)	10. 6
7	秋 田	仙北市角館	武家町	昭 51. 9. 4	(二)	6. 9
8	福 島	下郷町大内宿	宿場町	昭 56. 4. 18	(三)	11. 3
9	福 島	南会津町前沢	山村集落	平 23. 6. 20	(三)	13. 3
10	茨 城	桜川市真壁	在郷町	平 22. 6. 29	(二)	17. 6
11	栃 木	栃木市嘉右衛門町	在郷町	平 24. 7. 9	(二)	9. 6
12	群 馬	桐生市桐生新町	製織町	平 24. 7. 9	(二)	13. 4
13	群 馬	中之条町六合赤岩	山村・養蚕集落	平 18. 7. 5	(三)	63. 0
14	埼 玉	川越市川越	商家町	平 11. 12. 1	(一)	7. 8
15	千 葉	香取市佐原	商家町	平 8. 12. 10	(三)	7. 1
16	新 潟	佐渡市宿根木	港町	平 3. 4. 30	(三)	28. 5
17	富 山	高岡市山町筋	商家町	平 12. 12. 4	(一)	5. 5
18	富 山	高岡市金屋町	鋳物師町	平 24. 12. 28	(一)	6. 4
19	富 山	南砺市相倉	山村集落	平 6. 12. 21	(三)	18. 0
20	富 山	南砺市菅沼	山村集落	平 6. 12. 21	(三)	4. 4
21	石 川	金沢市東山ひがし	茶屋町	平 13. 11. 14	(一)	1. 8
22	石 川	金沢市主計町	茶屋町	平 20. 6. 9	(一)	0. 6
23	石 川	金沢市卯辰山麓	寺町	平 23. 11. 29	(二)	22. 1
24	石 川	金沢市寺町台	寺町	平 24. 12. 28	(二)	22. 0
25	石 川	輪島市黒島地区	船主集落	平 21. 6. 30	(二)	20. 5
26	石 川	加賀市加賀橋立	船主集落	平 17. 12. 27	(二)	11. 0
27	石 川	加賀市加賀東谷	山村集落	平 23. 11. 29	(三)	151. 8
28	石 川	白山市白峰	山村・養蚕集落	平 24. 7. 9	(三)	10. 7
29	福 井	小浜市小浜西組	商家町・茶屋町	平 20. 6. 9	(二)	19. 1
30	福 井	若狭町熊川宿	宿場町	平 8. 7. 9	(三)	10. 8
31	山 梨	甲州市塩山下小田原上条	山村・養蚕集落	—	(三)	15. 1
32	山 梨	早川町赤沢	山村・講中宿	平 5. 7. 14	(三)	25. 6
33	長 野	塩尻市奈良井	宿場町	昭 53. 5. 31	(三)	17. 6

34	長野	塩尻市木曾平沢	漆工町	平 18. 7. 5	(二)	12. 5
35	長野	千曲市稲荷山	商家町	平 26. 12. 10	(二)	13. 0
36	長野	東御市海野宿	宿場・養蚕町	昭 62. 4. 28	(一)	13. 2
37	長野	南木曾町妻籠宿	宿場町	昭 51. 9. 4	(三)	1245. 4
38	長野	白馬村青鬼	山村集落	平 12. 12. 4	(三)	59. 7
39	岐阜	高山市三町	商家町	昭 54. 2. 3 (平 9. 5. 29)	(一)	4. 4
40	岐阜	高山市下二之町大新町	商家町	平 16. 7. 6	(一)	6. 6
41	岐阜	美濃市美濃町	商家町	平 11. 5. 13	(一)	9. 3
42	岐阜	恵那市岩村町本通り	商家町	平 10. 4. 17	(三)	14. 6
43	岐阜	郡上市郡上八幡北町	城下町	平 24. 12. 28	(三)	14. 1
44	岐阜	白川村荻町	山村集落	昭 51. 9. 4	(三)	45. 6
45	静岡	焼津市花沢	山村集落	平 26. 9. 18	(三)	19. 5
46	愛知	名古屋市有松	染織町	—	(一)	7. 3
47	愛知	豊田市足助	商家町	平 23. 6. 20	(一)	21. 5
48	三重	亀山市関宿	宿場町	昭 59. 12. 10	(三)	25. 0
49	滋賀	大津市坂本	里坊群・門前町	平 9. 10. 31	(三)	28. 7
50	滋賀	彦根市河原町芹町地区	商家町	—	(二)	5. 0
51	滋賀	近江八幡市八幡	商家町	平 3. 4. 30	(一)	13. 1
52	滋賀	東近江市五個荘金堂	農村集落	平 10. 12. 25	(三)	32. 2
53	京都	京都市上賀茂	社家町	昭 63. 12. 16	(三)	2. 7
54	京都	京都市産寧坂	門前町	昭 51. 9. 4 (平 8. 7. 9)	(三)	8. 2
55	京都	京都市祇園新橋	茶屋町	昭 51. 9. 4	(一)	1. 4
56	京都	京都市嵯峨鳥居本	門前町	昭 54. 5. 21	(三)	2. 6
57	京都	南丹市美山町北	山村集落	平 5. 12. 8	(三)	127. 5
58	京都	伊根町伊根浦	漁村	平 17. 7. 22	(三)	310. 2
59	京都	与謝野町加悦	製織町	平 17. 12. 27	(二)	12. 0
60	大阪	富田林市富田林	寺内町・在郷町	平 9. 10. 31	(一)	11. 2
61	兵庫	神戸市北野町山本通	港町	昭 55. 4. 10	(一)	9. 3
62	兵庫	豊岡市出石	城下町	平 19. 12. 4	(二)	23. 1
63	兵庫	篠山市篠山	城下町	平 16. 12. 10	(二)	40. 2
64	兵庫	篠山市福住	宿場町・農村集落	平 24. 12. 28	(三)	25. 2
65	奈良	橿原市今井町	寺内町・在郷町	平 5. 12. 8	(一)	17. 4
66	奈良	五條市五條新町	商家町	平 22. 12. 24	(一)	7. 0
67	奈良	宇陀市松山	商家町	平 18. 7. 5	(一)	17. 0
68	和歌山	湯浅町湯浅	醸造町	平 18. 12. 19	(二)	6. 3
69	鳥取	倉吉市打吹玉川	商家町	平 10. 12. 25 (平 22. 12. 24)	(一)	9. 2

70	鳥 取	大山町所子	農村集落	平 25. 12. 27	(三)	25. 8
71	島 根	大田市大森銀山	鉦山町	昭 62. 12. 5 (平 19. 12. 4)	(三)	162. 7
72	島 根	大田市温泉津	港町・温泉町	平 16. 7. 6 (平 21. 12. 8)	(二)	36. 6
73	島 根	津和野町津和野	武家町・商家町	平 25. 8. 7	(二)	11. 1
74	岡 山	倉敷市倉敷川畔	商家町	昭 54. 5. 21 (平 10. 12. 25)	(一)	15. 0
75	岡 山	津山市城東	商家町	平 25. 8. 7	(一)	8. 1
76	岡 山	高梁市吹屋	鉦山町	昭 52. 5. 18	(三)	6. 4
77	広 島	呉市豊町御手洗	港町	平 6. 7. 4	(二)	6. 9
78	広 島	竹原市竹原地区	製塩町	昭 57. 12. 16	(一)	5. 0
79	山 口	萩市堀内地区	武家町	昭 51. 9. 4 (昭 53. 5. 31)	(二)	55. 0
80	山 口	萩市平安古地区	武家町	昭 51. 9. 4 (平 5. 12. 8)	(二)	4. 0
81	山 口	萩市浜崎	港町	平 13. 11. 14	(二)	10. 3
82	山 口	萩市佐々並市	宿場町	平 23. 6. 20	(二)	20. 8
83	山 口	柳井市古市金屋	商家町	昭 59. 12. 10	(一)	1. 7
84	徳 島	美馬市脇町南町	商家町	昭 63. 12. 16	(一)	5. 3
85	徳 島	三好市東祖谷山村落合	山村集落	平 17. 12. 27	(三)	32. 3
86	香 川	丸亀市塩飽本島町笠島	港町	昭 60. 4. 13	(三)	13. 1
87	愛 媛	西予市宇和町卯之町	在郷町	平 21. 12. 8	(二)	4. 9
88	愛 媛	内子町八日市護国	製蠟町	昭 57. 4. 17	(三)	3. 5
89	高 知	室戸市吉良川町	在郷町	平 9. 10. 31	(一)	18. 3
90	高 知	安芸市土居廓中	武家町	平 24. 7. 9	(二)	9. 2
91	福 岡	八女市八女福島	商家町	平 14. 5. 23	(二)	19. 8
92	福 岡	八女市黒木	在郷町	平 21. 6. 30	(三)	18. 4
93	福 岡	うきは市筑後吉井	在郷町	平 8. 12. 10	(三)	20. 7
94	福 岡	うきは市新川田竈	山村集落	平 24. 7. 9	(三)	71. 2
95	福 岡	朝倉市秋月	城下町	平 10. 4. 17	(二)	58. 6
96	佐 賀	鹿島市浜庄津町浜金屋町	港町・在郷町	平 18. 7. 5	(二)	2. 0
97	佐 賀	鹿島市浜中町八本木宿	醸造町	平 18. 7. 5	(一)	6. 7
98	佐 賀	嬉野市塩田津	商家町	平 17. 12. 27	(二)	12. 8
99	佐 賀	有田町有田内山	製磁町	平 3. 4. 30	(三)	15. 9
100	長 崎	長崎市東山手	港町	平 3. 4. 30	(二)	7. 5
101	長 崎	長崎市南山手	港町	平 3. 4. 30	(二)	17. 0
102	長 崎	平戸市大島村神浦	港町	平 20. 6. 9	(二)	21. 2
103	長 崎	雲仙市神代小路	武家町	平 17. 7. 22	(二)	9. 8
104	大 分	日田市豆田町	商家町	平 16. 12. 10	(二)	10. 7

105	宮 崎	日南市飢肥	武家町	昭 52. 5. 18	(二)	19. 8
106	宮 崎	日向市美々津	港町	昭 61. 12. 8	(二)	7. 2
107	宮 崎	椎葉村十根川	山村集落	平 10. 12. 25	(三)	39. 9
108	鹿児島	出水市出水麓	武家町	平 7. 12. 26	(二)	43. 8
109	鹿児島	薩摩川内市入来麓	武家町	平 15. 12. 25	(二)	19. 2
110	鹿児島	南九州市知覧	武家町	昭 56. 11. 30	(二)	18. 6
111	沖 縄	渡名喜村渡名喜島	島の農村集落	平 12. 5. 25	(三)	21. 4
112	沖 縄	竹富町竹富島	島の農村集落	昭 62. 4. 28	(三)	38. 3
43 道府県 92 市町村 112 地区				3,800.2 ha		